

子ども110番の家

子供達が困った時に助けを求めて駆け込む事が出来る家や、店舗の事です。
町田市で1998年から始まり、市内に7040か所あります。(2020年11月1日)



～今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします～

セーフティ教室の様子

7月6日に、1～3年生、みどりの教室を対象に、低学年セーフティ教室が開催されました。
町田警察署の方から「不審者の対応について」の講話がありました。
『子ども110番の家』の防犯に対する役割なども、お話しいただきました。
保護者の方も参加いただき、懇談会では防犯に対する質疑応答もありました。



“いかのおすし”について内容を知っているか質問したところ、子供達から大きな声で回答があり、良く理解している様子でした。

“いかのおすし”についての防犯DVDを鑑賞の際は、子供達から「ついていっちゃダメー!」、「コワイー!」と、自分の事のように心配する声も上がり、真剣に取り組んでいました。実際に、不審者から声を掛けられた際の防犯ベルを鳴らしての逃げ方を、各学年の代表者が演じて見せました。



【逃げる際の注意点】

- ①話しかけられても不審者との距離をあけて、近づかない。
- ②車の進行方向と逆報告に逃げる。

【保護者が注意する点】

- ①つきまとい、わいせつ行為等の犯罪は14～18時に発生が多い。
- ②上記の時間の住宅街、学校付近、自宅付近等、人通りが少ない場所に気を付ける。
- ③子供達に、ついていかせない、一人で遊ばせない、外出先を聞く。
- ④いつも遊ぶ友達、場所を把握しておく。
- ⑤帰宅後の子供の異変にすぐ気が付けるように、声を掛ける。
- ⑥自宅のカギは外から見えないように持たせる。

- ⑦自宅周辺、通学路の『子ども110番の家』の場所を確認する、

※『子ども110番の家』マップで登録の家や店舗を確認して、通りかかった際には、お子様にお話ししてみてください。

- ⑧約束の時間に帰宅しなかった場合は、先に110番に連絡し、その間に自宅周辺を探したり、学校に連絡するなどする。

【保護者からの質問】

Q：子供から知らない人に声を掛けられたという話を聞いた場合、学校や、交番に連絡した方が良いでしょうか。

A：その場合、子供達の安全が一番大事なので、すぐに対応できるように110番に連絡してください。

Q：何かされた訳では無く、挙動不審というだけで110番しても良いのでしょうか。

A：何かされていなくても異変を感じた場合は、少し離れたところから、不審者がいる間に、110番に連絡して下さい。

上記の場合も同様に、時間がたった後では対応できない場合があるので、すぐに連絡をしていただけないようお願いしたい。

不安を解消出来るよう、パトロール、職務質問をして対応する事で、地域周辺の防犯意識の高まりにもなります。

Q：電話番号を書いたものを持たせずに、暗記させた方が良いでしょうか。

A：暗記は難しい年齢だと思うが、ただ、電話番号が奪われる心配があるなら持たせないで下さい。

●不審者に声を掛けられた際の“いかのおすし”の内容や、近くの『子ども110番の家』で知っているお宅や、店舗があるかどうか(自由研究で調べてみるのも良いかもしれません！)、遊びに行く際の約束事等、再度、子供達と内容を確認し、防犯についてお話ししてみてください。

いかない



のらない



おおごえでさけぶ



すぐにげる



しらせる

